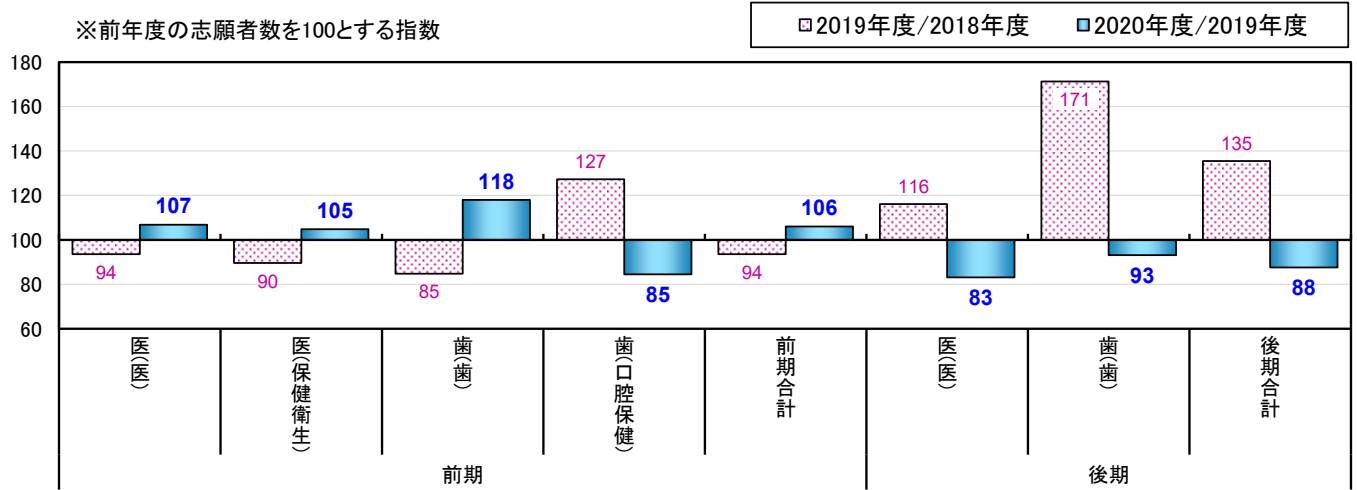


## 2020 年度入試状況分析【国公立大】

**東京医科歯科大：前期は歯(口腔保健)が大幅減少、後期は医(医)が大幅減少 前期：-43人 後期：-45人**



入試変更点 募集人員：医(医)〈前〉…82人→81人

**COMMENT** ※ ( ) 内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は4年連続減少の反動で、43人(106)のやや増加。学部・学科・専攻別では、医(保健衛生/看護)(93)、歯(口腔保健/口腔保健工)(48)を除いた学部・学科・専攻は増加。後期は45人(88)の減少で、2013年度以降、前年度の反動による増減が継続。

＜前期日程＞

- 医(医)(107)は、3年連続減少の反動でやや増加。
- 医(保健衛生)(105)は、2年連続減少の反動でやや増加。専攻別では、(保健衛生/検査技術)(119)は2年連続大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(保健衛生/看護)(93)は前年度増加の反動で、やや減少と対照的。
- 歯(歯)(118)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。前年度減少人数と同じ人数の増加人数だった。
- 歯(口腔保健)(85)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。2014年度以降、前年度の増減による反動が継続。専攻別では、(口腔保健/口腔保健衛生)(104)は前年度大幅増加に引き続き、やや増加。一方で、(口腔保健/口腔保健工)(48)は半減以上の大幅減少で、志願倍率は2倍を下回った。

＜後期日程＞

- 医(医)(83)は、前年度大幅増加の反動とセンター試験重視の配点により、センター試験の平均点ダウンの影響を受けて大幅減少。志願倍率も20.2倍→16.8倍にダウン。
- 歯(歯)(93)は、前年度大幅増加の反動でやや減少。2014年度以降、前年度の増減による反動が継続。